

これから「思春期版家庭教育支援プログラム」を使う方へ ～よりよい活用のポイント～

思春期版家庭教育支援プログラムは、7校のモデル校での実践を中心に効果的な活用方やポイントについて検証を重ねてきました。

「思春期版家庭教育支援プログラム」活用のポイントを整理しました。

ポイント1 ニーズに合わせた学習テーマを選びましょう

- 保護者の不安や悩み、子どもたちをめぐる課題に対応させたテーマの設定

ポイント2 ワークショップに対する保護の抵抗感を少なくしましょう

- 保護者が気軽に参加しやすいような事業名や周知方法の工夫

ポイント3 保護者の参加意欲を持続させましょう

- 保護者の参加意欲が低下しない、開催時期や回数の検討

ポイント4 学習効果を高めるプログラムにしましょう

- 実施目的や、参加対象にあわせた他の学習法との組合せや資料の選定

ポイント5 参加者が楽しい気持ちで学べる雰囲気にししましょう

- 気軽に話しができるような会場や準備の工夫

ポイント6 いろいろな機会にやってみましょう

- 学校でのPTA行事、学年会や学級懇談会、地域での様々な活動など

ポイント7 ファシリテーターに協力してもらいましょう

- プログラムを効果的に活用できるファシリテーターに依頼

これからのニーズに応えるために ～ファシリテーターがスタンバイ！～

思春期版家庭教育支援プログラムは、「親学習プログラム」がベースです。「親学習プログラム」も「思春期版家庭教育支援プログラム」も、県内各地にプログラムを活用できるファシリテーターがいます。

プログラムを活用した保護者の学習会で、ファシリテーターを希望する場合は、お住まいの市町村教育委員会やお近くの教育事務所ふれあい学習課にお問い合わせください。

栃木県総合教育センターでは、「思春期版家庭教育支援プログラム」を効果的に活用するための研修を行っています。

家庭教育支援プログラム指導者研修（思春期版プログラムコース）

開催 2回/年

場所 栃木県総合教育センター

※詳細は総合教育センターから発行される開催要項を御覧ください。

栃木県教育委員会事務局生涯学習課

〒320-8501 栃木県宇都宮市埜田1-1-20 TEL 028-623-3404 FAX 028-623-3406

E-mail: syougai-gakusyuu@pref.tochigi.lg.jp

広がってます！ 「思春期版家庭教育支援プログラム」

進路や友人関係などに悩む思春期の子どもとの向き合い方を学ぶことができる「思春期版家庭教育支援プログラム」は、多くの保護者が集まる学習機会や交流会で活用され、中学校や高等学校、特別支援学校をステージに、県内に少しずつ広がりを見せています。

より効果的な活用の場面や活用方法のヒントを7つのモデル校（PTA）の取組をもとに紹介します。

思春期版 家庭教育支援プログラム

思春期は、心身ともに不安定になりやすい時期です。

思春期の子どもをもつ保護者の家庭教育支援を充実させるため、栃木県教育委員会は、平成23年度に「思春期版家庭教育支援プログラム」を作成し、中学校、高等学校、特別支援学校で活用を促進しています。



保護者の「不安や悩み」を軽減します！



保護者の「学び」を応援します！



保護者の「つながり」をつくれます！



栃木県教育委員会事務局生涯学習課